

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2026年5月分)

2026年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH中央選挙管理委員会\(CEC\)による総選挙告示:10月4日投開票\(7日\)](#)

●[シュミット上級代表による辞任表明\(11日\)](#)

●[BH中央選挙管理委員会\(CEC\)とスマートマティック社による調達契約の署名\(18日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[ミオコビッチ前BH連邦下院議長の後任を選任するための会合の中止\(13日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[RS代表団のプーチン露大統領との会談\(9日\)](#)

●[RS国民議会によるOHR閉鎖に関する宣言の採択\(26日\)](#)

●[ドディックSNSD党首のモスクワ訪問\(27日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BH情勢に関する国連安保理会合\(12日\)](#)

(2) 二国間関係

●[ベチロビッチ大統領評議会議長とサンチェス・スペイン首相との会談\(4日\)](#)

●[ベチロビッチ大統領評議会議長とスターマー・英首相との会談\(4日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ゼニツァ市アレクサ・シャンティチ小学校修復計画」引渡式の実施\(14日\)](#)

●[ヨーロッパ柔道「形」選手権大会及び講道館柔道「形」セミナー\(17～20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

●[BH財務省、世界銀行と3つの融資契約を署名\(12日\)](#)

(3) 経済協力

●[EU・EBRD出資による交通インフラの現代化イニシアティブの開始\(12日\)](#)

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●アデモビッチBH上院議長による新党「レッド・ライン」設立(6日)

6日、アデモビッチBH上院議長は、人民と正義(NiP)を離党し、新党「レッド・ライン」を設立し、同党首に就任した。同党首は自身が同党の声明の中で、国有財産の保護、ボスニア・ヘルツェゴビナ憲法裁判所の重要性、そしてその判決の履行を特に重視した政党活動を実施していくと語った。

●BH中央選挙管理委員会(CEC)による総選挙告示:10月4日投開票(7日)

7日、BH中央選挙管理委員会(CEC)は、2026年BH総選挙の実施に関する決定を採択し、同選挙は2026年10月4日(日)に実施される旨を正式に告示した。本選挙では、BH大統領評議会メンバー、BH下院議員、BH連邦下院議員、RS国民議会議員、RS大統領及び副大統領、BH連邦カントン議会議員を選出する。最終的な有権者名簿には、3,414,364名が登録されている。選挙運動は、2026年9月4日(金)に開始される。それまでの間は、有料の政治広告を含め、時期尚早な選挙運動は禁止される。候補者及び政党の政策綱領のあらゆる形態の提示及び宣伝が禁止される。

●シュミット上級代表による辞任表明(11日)

11日、上級代表事務所(OHR)は、 Dayton 和平合意付属書10に基づく約5年間の任期を経て、シュミット氏が辞任することを公式声明で発表した。シュミット氏は既に平和履行理事会(PIC)運営委員会にこの決定を伝え、後任選任手続きの開始を要請した。

●イゼトベゴビッチSDA党首のBH大統領評議会ボシュニャク・メンバー選出馬(14日)

14日、イゼトベゴビッチSDA党首は、自身がBH大統領評議会ボシュニャク・メンバー選に出馬することを表明した。同党首は、党内から満場一致の支持を得て、立候補する意向を固めたと語った。同評議会ボシュニャク・メンバー選には、すでにベチロビッチSDP候補(現職)及びエフェンディッチSBiH候補が出馬を表明している。

●BH中央選挙管理委員会(CEC)とスマートマティック社による調達契約の署名(18日)

18日、カラバBH中央選挙管理委員会(CEC)委員長は、グニンク「スマートマティックBH」社のディレクターと共に、生体認証及び投票用紙スキャンのためのシステム調達に関する契約に署名した。本調達の総額は、7453万KM(VATを含む)。本契約には、上記の目的を達するために必要なすべての部品、機材、ソフトウェア、消耗品、技術的サポート、投票用紙の印刷、製品の管理、効率的かつ透明性のあるBH総選挙の実施が含まれている。

●親ボスニア7政党による憲法秩序、国家体制の保護及び欧州大西洋路線の継続に関する覚書(25日)

25日、BH議会に議席を持つ親ボスニア7政党が、憲法秩序、国家主権、BHの欧州大西洋路線の保護に関する覚書に署名し、BH憲法裁判所、国有財産及び上級代表は政治的交渉の対象ではないことを強調した。同覚書は、シュバゴSDA議員団長、マガジノビッチSDP議員団長、バルチャNiP及びBHIKF議員団長、チューディッチNS議員団長、エムリッチNES及びNaprijed議員団長により署名された。同覚書では、領土一体性、主権、政治的独立及びBH国家の排他的な国際法主体性への揺るぎないコミットメントを再確認するとともに、BH憲法裁判所、国有財産問題、EU及

びNATOへの揺らぐことのないコミットメントを再確認すると明記。その上で、新しい上級代表は、5+2アジェンダが完全に履行され、政治的ブロックが解除されるまで、ボン・パワーを含む全ての権能を維持すると共にできる限り早く指名されるべきであると呼びかけた。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ミオコビッチ前BH連邦下院議長の後任を選任するための会合の中止(13日)

13日、BH連邦下院は、本年3月に解任されたミオコビッチ前BH連邦下院議長の後任を選任するための会合を予定していたが、定足数不足で中止となった。後任候補には、プリッチBH連邦下院議員(NS)が推薦されていたが、与党間での合意が得られず、多くの議員が欠席した。

イ スルブスカ共和国(RS)

●RS政府による第35回対国連安保理報告書(1日)

1日、RS政府は、5月12日にNYで実施予定の第69回上級代表国連安保理報告に先がけ、対国連安保理報告書を発表し、NYの中国・国連代表部宛に送付するとともに、当館を含む当地外交団にも写しを送付した。同報告者は、RSは Dayton 和平合意と国内的対話による問題解決にコミットしており、長年に亘る Dayton 和平合意の甚だしい違反への苛立ちを表すレトリックはあったが、BHから分離する計画はないと明記。さらに、同報告書は、シュミット氏の任命は国連安保理に承認されておらず、法的に任命されていないが、彼の統治は特に抑圧的で、前任者たちよりも多くの危機を引き起こす決定を行ってきたと指摘した。

●RS代表団のプーチン露大統領との会談(9

日)

9日、カランRS大統領、ステバンディッチRS国民議会議長、ドディックSNSD党首は、モスクワを訪問し、プーチン露大統領と会談した。カランRS大統領は、対独戦勝記念式典に参加できることは名誉なことであると謝意を示し、長きにわたるドディックSNSD党首とのコンタクトを通じて、RS・ロシア関係はより強化されてきた旨を指摘した。帰国後、ドディックSNSD党首は、5月12日にニューヨークで開催される国連安保理において、ロシア連邦の明確かつ厳格な立場が示されることが重要であると指摘した上で、RSとロシアの関係は、並外れたほどの深い理解に満ちていると言わなければならないと述べ、我々は、いくつかの新たな取り決めについて議論したと語った。

●マツート・セルビア首相とミニッチRS首相の会談(23日)

23日、ミニッチRS首相は、トレビニェを訪問中のマツート・セルビア首相と会談し、重要なインフラプロジェクトや開発プロジェクトについて議論した。具体的には、トレビニェ空港の建設、セルビア及びRS間のガスパイプラインを通じた連結性強化、両地域間の鉄道網の再活性化、教育及び司法分野の協力等について議論した。

●RS国民議会によるOHR閉鎖に関する宣言の採択(26日)

26日、RS国民議会は、OHR閉鎖に関する宣言を採択した。5月25日に統一スルブスカ(RS与党)提案の同宣言案の審議が開始されたが、セルビア民主党(SDS)及び民主進歩党(PDP)(いずれもRS野党)による提言を受け、新たな宣言案を作成し、翌日に改めて審議され、採択された。同宣言では、Dayton 和平合意付属書10の当事者として、国連安

保理に対し、BH上級代表の職務終了及びOHRの閉鎖の決議を迅速に採択することを要請するした上で、上級代表任命手続きにおいて当事者の意思・同意を軽視すること及び「ボン・パワー」による超法規的かつ違法な権限拡張は、付属書10に違反していると指摘し、それらの権限行使から生じたすべての法的帰結を無効とすることを要求した。

●ドディックSNSD党首のモスクワ訪問(27日)

27日、ドディックSNSD党首及びブディミルRS内務大臣は、国際安全保障フォーラムに参加するため、モスクワを訪問し、ショイグ露安全保障会議書記と会談した。会談の冒頭、ショイグ露安全保障会議書記は、モスクワ訪問中のドディックSNSD党首及びブディミルRS内務大臣を歓迎し、ロシアは包括的な政治的支援を継続していくと語り、5月9日の対独戦勝記念日パレードへの参加に謝意を示した。会談の中で、ドディックSNSD党首は、RS・ロシア間の関係は何の問題もなく、我々は同じ共通価値、国、そして人々のために闘っているとし、ウクライナでの特別軍事作戦への支持及びルハンスク州の青年寮が襲撃を通じた「テロ行為」の犠牲者に哀悼の意を表すると語った。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●BH情勢に関する国連安保理会合(12日)

12日、国連安保理はBH情勢に関する会合(議長国:中国)を開催し、ベチロビッチ大統領評議会議長が出席し、シュミット上級代表による公開ブリーフィングの後、安保理理事国、EU、BH、セルビア及びクロアチアの代表によ

る発言が行われた。安保理加盟国間では、OHRの正当性と存続を巡って意見が分かれており、露は上級代表の権限の正当性を否定し、即時閉鎖を求めた一方、欧州諸国は和平履行のための「5+2アジェンダ」が達成されるまではOHRが必要であるとの立場を取った。また、米国は、OHRの権限は恒久であるべきではないとした上で、必要があれば後任候補を用意している旨を明言した。

(2) 二国間関係

●ベチロビッチ大統領評議会議長のエレバンサミットへの参加(4日)

4日、ベチロビッチ大統領評議会議長は、第8回欧州政治共同体サミット(於アルメニア・エレバン)のマージンにて、サンチェス・スペイン首相と会談し、BHのEU加盟及びNATO加盟に向けたスペインによる継続的な支援に謝意を示し、これらの戦略的目標はBHの安定と平和にとって必要不可欠である旨を強調した。続けて、ベチロビッチ大統領評議会議長は、スターマー英首相と会談し、二国間の同盟関係をさらに強化し、安全保障、NATO、国家の安定及び経済改革の分野でさらなる協力関係を深めていく旨を確認した。

●セルフ米下院議員及びスブラマニヤム米下院議員のBH訪問(23日~24日)

23日から24日にかけて、セルフ米下院議員(共和党)及びスブラマニヤム米下院議員(民主党)は、BHを訪問し、コナコビッチBH外務大臣、ヘレズBH国防大臣、カランRS大統領、ババリBH下院議長(SDS)、ボレノビッチBH下院議員(PDP)、クリシヨク首席副上級代表(PDHR)等と会談した。コナコビッチBH外務大臣は、セルフ米下院議員及びスブラマニヤム米下院議員と会談し、米国が国家機関の強化及び戦略的目標の達成及び法の支配

において重要な役割を有していると述べ、「コ」外務大臣は、米国務省が議会に提出した西バルカン諸国に関する報告書に言及し、地域の安定の維持、経済関係の強化及びロシアと中国の影響力抑制を戦略目標として設定し、デイトン和平合意への明確なコミットメントを明記した点について歓迎した。

(3) 日・BH関係

●令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ゼニツァ市アレクサ・シャンティチ小学校修復計画」引渡式の実施(14日)

14日、相木大使は、ゼニツァ市(サラエボから北西に約 70 キロ)を訪問し、ピビッチ・ゼニツァードボイ・カントン首相、ムシヤ・ゼニツァードボイ・カントン教育・科学・文化・スポーツ大臣、チョロマン校長等と共に、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力事業「ゼニツァ市アレクサ・シャンティチ小学校修復計画」の引渡式に出席した。引渡式にて、相木大使は、校舎および体育館屋根の修復支援により、同校における学習環境が改善され、生徒および教員が、より安全で快適な環境で学び、過ごすことができるようになることを嬉しく思うと述べた。日本政府は、同校に対し、校舎および体育館屋根等の修復のために92,529ユーロを供与した。



(写真: 引渡式の様子)

●ヨーロッパ柔道「形」選手権大会及び講道館柔道「形」セミナー(17～20日)

17日から20日にかけて、サラエボ市内にて、講道館より小志田憲一氏と眞喜志慶治氏を迎えて、ヨーロッパ柔道「形」選手権大会及び柔道「形」セミナーが開催された。柔道「形」選手権大会には、ヨーロッパ29カ国から452名が参加し、基本動作の正確さや美しさを競った。開会式で相木大使は、この大会とセミナーが日本とBHそして、ヨーロッパ諸国の友好と相互理解を深める機会になることへの期待を述べた。大会後に開催された柔道「形」セミナーには、オリンピックメダリストなど12カ国より55名の柔道家が参加し、小志田氏と眞喜志氏より直接指導を受けた。



(写真:開会式の様子)

3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●工業生産指数

2026年5月の工業生産指数は、季節調整後数値で前月比0.1%マイナス。前年同月比1.0%マイナス。

●雇用／失業率

2026年5月の失業者登録数は30万5335人(うち女性18万2213人)で、前月比で1.4%マイナス、前年同月比で3.2%マイナス。

●平均給与

2026年5月の平均給与(手取り)は1,691 KMで、前月比で名目賃金は0.4%プラス、実質賃金は1.3%プラス。前年同月比で名目賃金は7.4%プラス、実質賃金は1.7%プラス。

●消費者物価指数

2026年5月の消費者物価指数は前月比0.9%マイナス。前年同月比で平均5.6%プラス。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.3%のプラス。

●貿易収支

2026年5月のBHからの輸出総額は71.98億KM(前年同期比1.8%減)、BHへの輸入総額は127.91億KM(前年同期比4.6%増)。貿易収支は55.93億KMの赤字。

(2)経済政策・公共事業

●BH財務省、世界銀行と3つの融資契約を署名(12日)

アミジッチBH財務大臣は、シェルドン当地世界銀行事務所長と共に、RSで1件、BH連邦で2件の計3件のプロジェクトに関する融資契約に署名した。RSでは、土地情報管理の強化を目的とした3,520万ユーロの融資契約が結ばれ、BH連邦では固形廃棄物管理サービスの改善のための4,600万ユーロ及び幹線道路の改修計画に関する7,000万ユーロの融資が行われる。

(3)経済協力

●EU・EBRD出資による交通インフラの現代化イニシアティブの開始(12日)

12日、欧州連合(EU)と欧州復興開発銀行(EBRD)は、1,000万ユーロの助成金を拠出し、BHの交通インフラの現代化イニシアティブを開始すると発表した。同イニシアティブは、EU基準に沿って、道路インフラの近代化、連結

性の向上、そして国内全域の交通安全の改善を支援するもの。ソレカ当地EU代表は、欧州連合からの 1,000 万ユーロの助成金により、BH連邦で最大800キロメートル、RS共和国で最大360キロメートルに及ぶ大規模インフラ事業を支援することにより、国民の経済機会の拡大に貢献すると語った。